

NO.1

明石のコミュニティ・スクール
人をつなぎ 未来をつなぐ

ヨミヨミスタスタ

2019.4.11

明石市コミュニティ・スクール元年

平成 31 年度がスタートしました。新年号も「令和」と決まり、平成から令和へのバトンタッチの年に明石のコミュニティ・スクールもスタートします。まさしく明石のコミュニティ・スクール元年、新しい時代の幕開けです。

明石市のコミュニティ・スクールの導入は、「地域に開かれた学校」から一步踏み出し、「地域でどのような子どもたちを育てるのか」、「何を実現していくのか」といった目標やビジョンを、地域（保護者・地域住民等）と学校が共有し、一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」へと転換していくことを目指しています。

明石市には、コミュニティ・スクールの推進していく土壌がすでにあります。小学校区ごとにコミュニティ・センター、スポーツ 21、まちづくり協議会等が設置され、人が集い、学ぶ場として、また住みよいまちづくりを進められています。

コミュニティ・スクールへのスタートを切るにあたって、「学校ってだれのものなんだろう?」「子どもたちが育つ学校って?」「今のままの学校でいいのかな?」・・・、学校の役割を問い直し、「地域とともにある学校」とはどのような学校なのかをまず考えていくことが大事であり、必要なのではと考えています。

キーワードは熟議

コミュニティ・スクールづくりに答えはありません。コミュニティ・スクールづくりは今の時代、これからの時代にあった学校や地域の仕組みを創り出すプロジェクトです。私たち教員は正解を求めたがる、答えがないと不安になる傾向があります。今の時代、これからの時代にあった学校や地域の仕組みを創り出すコミュニティ・スクールづくりのプロジェクトは学校・保護者・地域住民が知恵を出し合い、新しい仕組みを創っていく取り組みです。まず我々教員が、「知恵を出し合う＝熟議」に慣れていくことから初めてみるのはいかがでしょうか。まさしく熟議できる力を子どもたちに育てることが求められているのですから、まず私たち教員が熟議できる力を身につけていくことが大切なのは？

「コミコミスクスク」

コミュニティ・スクールづくりをすすめる中での課題や悩み、各校の取り組みを紹介、共有できたらと明石市コミュニティ・スクールだより「コミコミスクスク」をスタートします。少しでも各校でのコミュニティ・スクールの理解が深まり、これからの時代に対応できる学校の仕組みづくりがスタートできたらと考えています。

文責：CS コーディネーター 北本